

## 4K・8Kロードマップに関するフォローアップ会合（連絡会） 議事概要

### 1 日 時

平成27年12月25日（金） 10:00～11:00

### 2 場 所

総務省8階 第1特別会議室

### 3 出席者

#### 【構成員】

伊東構成員（座長）、相子構成員代理、井川構成員、一本構成員、伊藤構成員、宇佐見構成員、岡構成員、川口構成員、川添構成員、黒田構成員、近藤構成員、島田構成員、清水構成員、関構成員、園田構成員、田口構成員、種谷構成員、中田構成員、仁藤構成員、根岸構成員、橋本構成員、浜田構成員、春口構成員、平林構成員、藤ノ木構成員、堀木構成員、松本構成員、三宅構成員、元橋構成員、安木構成員、山下構成員代理（五十音順）

#### 【説明者】

永田勝美氏（株式会社NTTぶらら取締役技術本部長）

鈴木謙二氏（一般社団法人新CAS協議会事務局長）

#### 【オブザーバー】

石川 経済産業省情報通信機器課課長補佐

#### 【総務省】

今林情報流通行政局長、吉田審議官、椿総務課長、長塩放送政策課長、久恒放送技術課長、藤野地上放送課長、鈴木衛星・地域放送課長、豊嶋情報通信作品振興課長、徳光地域放送推進室長、住友衛星・地域放送課技術企画官、藤波衛星・地域放送課企画官

### 4 議事要旨

- (1) 衛星基幹放送による超高精細度テレビジョン放送の実用放送に関する今後のスケジュールについて、鈴木衛星・地域放送課長より説明（資料1）。
- (2) 第二次中間報告後の取組状況について、鈴木衛星・地域放送課長（資料2）、浜田構成員（資料3）、元橋構成員（資料4）、仁藤構成員、松本構成員、永田勝美氏（資料5）、鈴木謙二氏よりそれぞれ説明。

### (3) 構成員からの意見

#### 【園田構成員】

今回の会合は超高精細テレビがテーマであったが、我々には110度CSHD化という非常に大きな課題が残っている。これについても早期に進めていただくようお願いしたい。

#### 【鈴木衛星・地域放送課長】

110度右旋のHD化の推進については、これまでのフォローアップ会合の中でも、重要な課題ということで何度も構成員の皆様からご提起いただいております、報告書にも記載がある。現在、衛星事業者が関係者との調整を進めている途上と聞いているので、調整がつき次第、取組を進めていきたい。

#### 【元橋構成員】

本日、高度広帯域衛星デジタル放送の運用規定を次世代放送推進フォーラムで公開するが、それに伴い、本格的に受信機の開発あるいは放送機器の整備に着手できるようになる。我々の技術委員会の中でも、受信機のテストセンターの機能を検討して体制を設ける予定。昨年7月の第二次中間報告の中で、BS右旋の帯域再編についてのテストセンター、BS左旋についてのテストセンターのいずれにも記述があるが、右旋部分については、総務省、受信機メーカー、放送事業者が連携・協力して諸課題を解決して2015年中に受信機の検証に着手する必要があると書かれており、左旋の部分については、受信環境テストセンターの整備には国における支援についても検討することが望まれるという記述となっている。行政としての取組、あるいは放送事業者や受信機メーカーへの働きかけの状況をご教示いただきたい。

#### 【久恒放送技術課長】

7月以降、関係者には幾度かヒアリングしている。残念ながら年内着手には及んでいないが、意見交換は進んでいる。来月には、関係団体、関係各社ともう一度打合せをして、進め方をじっくり相談し、テストセンターを運用させたいと考えている。

### (4) 閉会

今回の開催については、構成員への日程調整の上、事務局より連絡することとなった。

(以上)